

決算補足説明資料

FY23 3Q

2023年11月13日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

■ 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

FY21：2021年12月期

FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY23 3Q累計 連結業績

- 売上収益及び営業利益ともに、増収増益。業績予想に対して高い進捗率で推移
- 当期利益は、株式売却益等があった前年同期に対しては減益であるものの、業績予想に対して高い進捗率で推移
- テイボーは、筆記は、一部回復の兆しが見られるが、欧米及び国内市場が停滞し減収。MIMIは、一部の顧客では回復が見られたものの、減収
- AlphaThetaは、好調な需要と供給の正常化により、売上収益及び事業EBITDAともに増収増益
- JLabは、米国の家電小売市場の停滞が続くなかでもシェアを拡大し、増収。コスト低減策の効果も加わり、増益

FY23 通期連結業績予想

- Seratoの取得関連費用や、持分法適用株式の評価損リスク等を4Qに反映するも、3Q累計までの進捗及び想定為替レートの見直し等を反映し、上方修正
- 配当予想は、現時点の予想数値に基づいた変更は行わないが、配当性向40%以上とする方針に変更なし

Contents

1. **FY23 3Q累計 連結業績**
2. **FY23 通期連結業績予想**
3. **トピック**

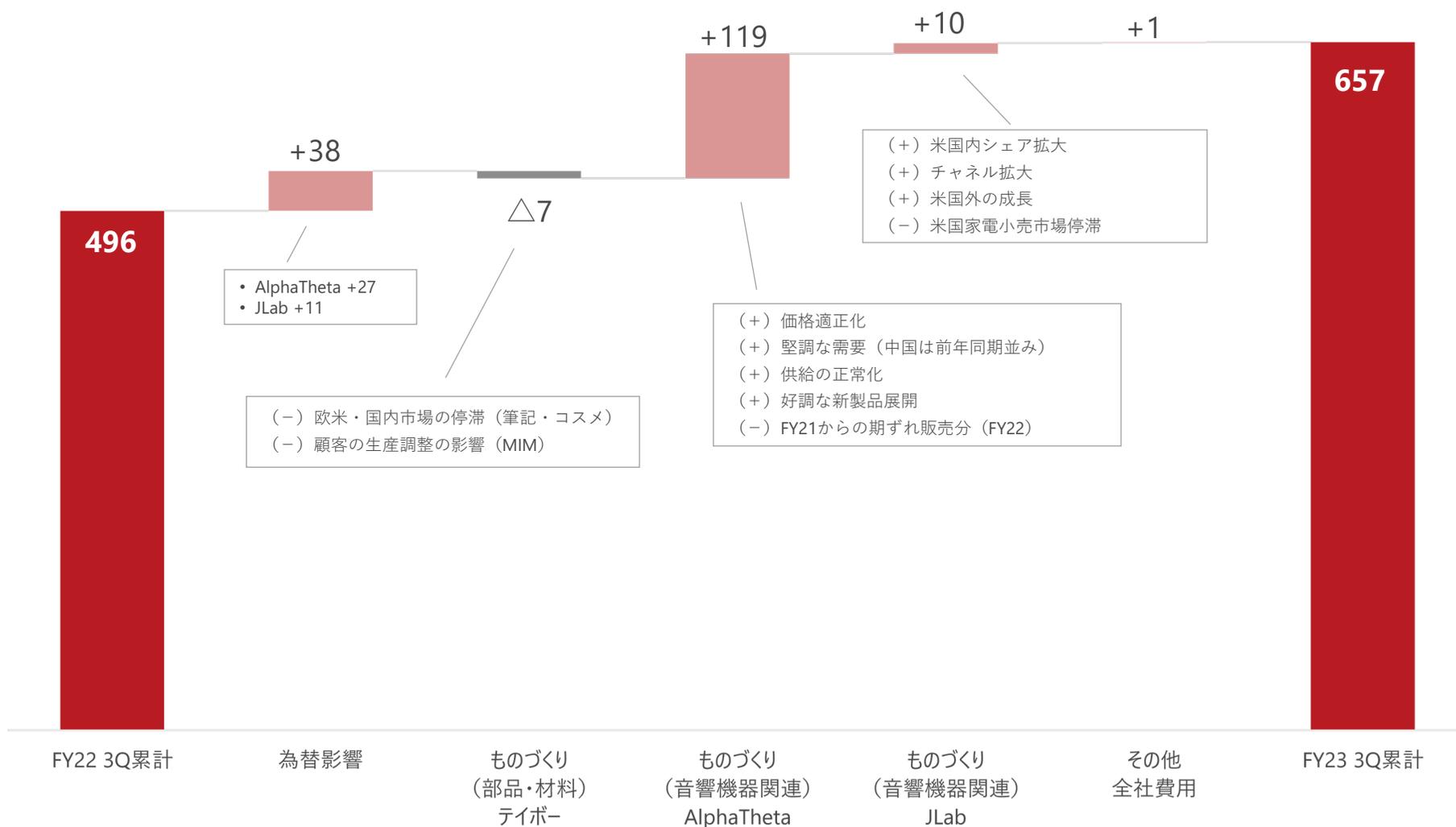
- 売上収益及び営業利益ともに、増収増益。業績予想に対して高い進捗率で推移
- 当期利益は、株式売却益等があった前年同期に対しては減益であるものの、業績予想に対して高い進捗率で推移

単位：百万円	FY22 3Q累計	FY23 3Q累計	増減額	増減率
売上収益	49,662	65,789	+16,127	+ 32.5%
事業EBITDA	6,980	13,748	+6,768	+97.0%
事業EBITDAマージン	14.1%	20.9%	+6.8%	-
営業利益	4,227	12,522	+8,295	+196.2%
当期利益	102,928	7,842	△95,086	-92.4%
為替レート (平均)				
米ドル (円)	128.1	138.1	+10.0	-
ユーロ (円)	136.0	149.6	+13.6	-
為替レート (期末)				
米ドル (円)	144.8	149.6	+4.8	-
ユーロ (円)	142.3	158.0	+15.7	-

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。

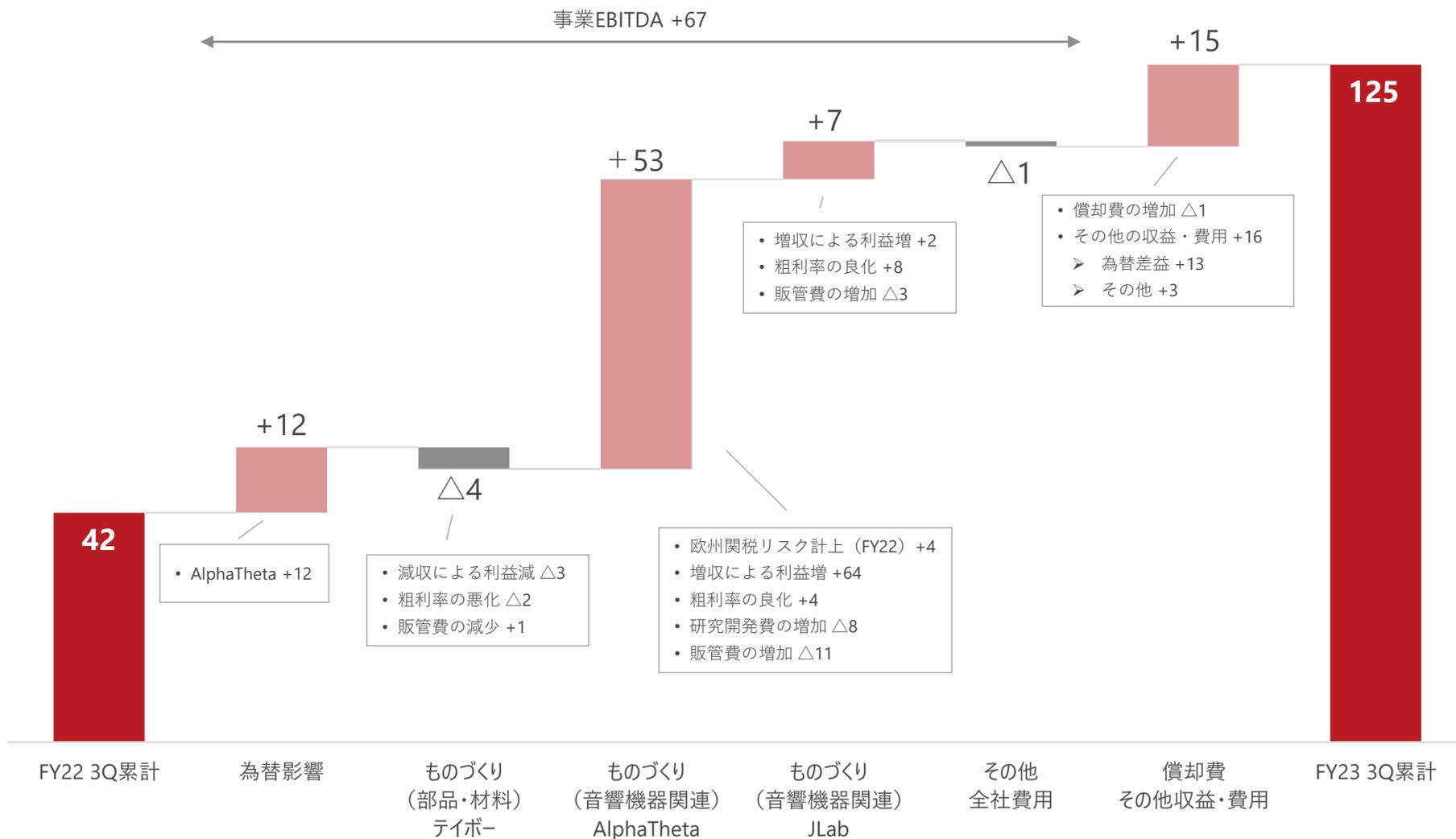
対前年同期

単位：億円



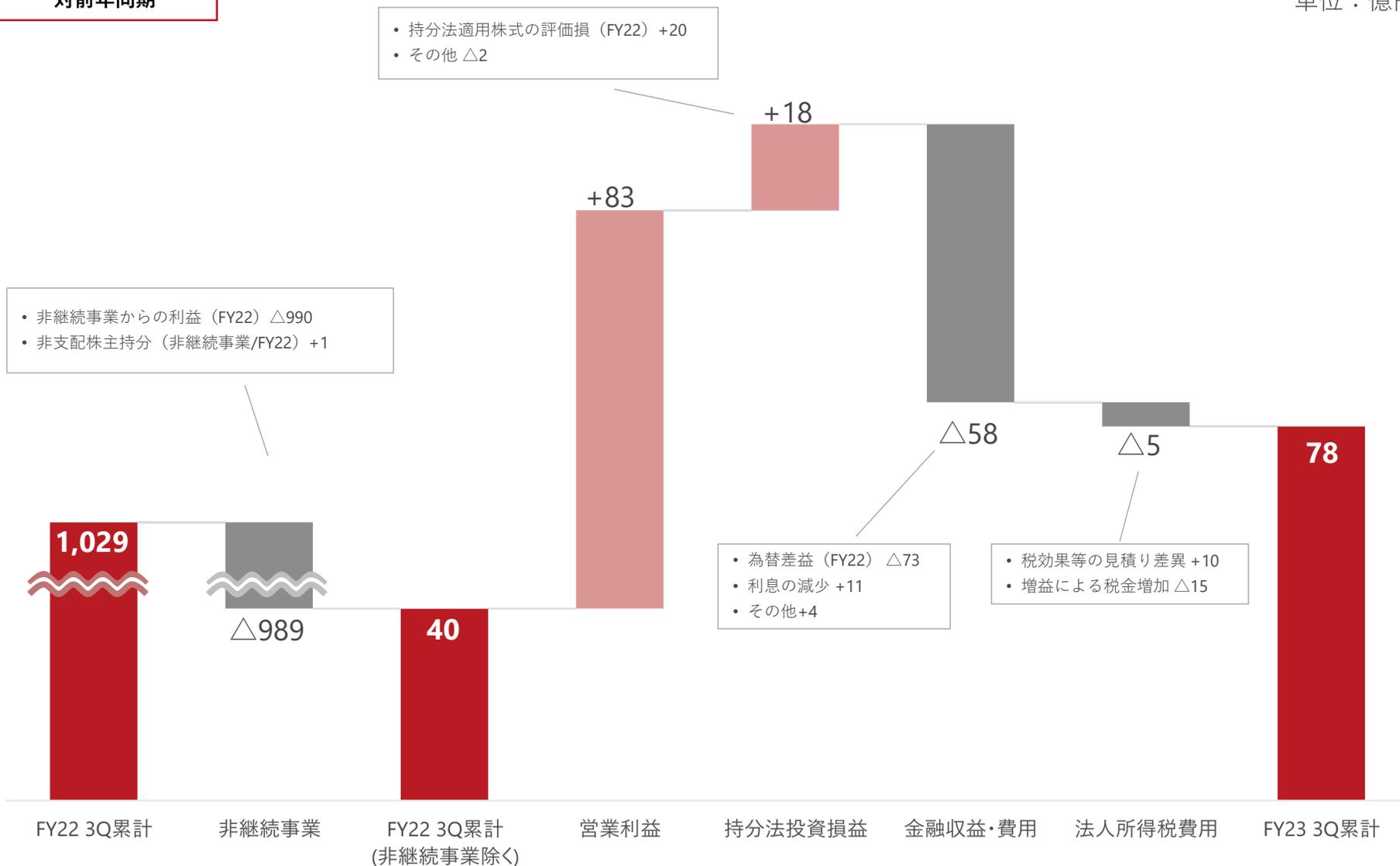
単位：億円

対前年同期



単位：億円

対前年同期



FY22の株式売却益に係る法人所得税費用の支払い等により、現金及び現金同等物が減少するが、財務健全性を維持

バランスシート

単位：百万円	FY22	FY23 3Q	増減額
現金及び現金同等物	96,436	44,369	① △52,067
売上債権及びその他の債権	14,834	15,571	+736
棚卸資産	16,107	18,951	+2,844
のれん	48,589	49,823	+1,233
無形資産	78,302	79,199	+897
その他資産	52,986	85,738	② +32,752
資産合計	307,257	293,654	△13,603
仕入債務及びその他の債務	6,296	8,496	+2,200
借入金	48,054	41,246	△6,807
その他負債	60,038	34,512	③ △25,525
負債合計	114,388	84,255	△30,132
資本合計	192,869	209,398	+16,529

財務健全性

有利子負債	48,054	41,246	△6,807
現金性資産	132,200	95,688	△36,512
Net Debt	△84,146	△54,442	+29,704

主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 △520億円
 - ・ 営業CF △357億円
 - － 事業EBITDA +137億円
 - － 営業活動に係る資産・負債の増減 +26億円
 - － 法人所得税費用の支払い △533億円
 - ・ 投資CF △20億円
 - ・ 財務CF △163億円
 - － 借入金の返済 △70億円
 - － 配当金の支払い △55億円
- ② その他資産 +327億円
 - ・ 未収還付法人税等 +172億円
 - ・ 売買目的で保有する資産/その他の金融資産 +155億円
- ③ その他負債 △255億円
 - ・ 未払法人所得税の減少 △345億円
 - ・ 繰延税金負債の増加 +65億円

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY22 3Q累計	FY23 3Q累計	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	9,452	8,750	△702	-7.4%
	事業EBITDA	2,774	2,323	△451	-16.3%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	39,299	55,971	+16,671	+42.4%
	事業EBITDA	4,722	12,050	+7,328	+155.2%
AlphaTheta	売上収益	24,577	39,161	+14,584	+59.3%
	事業EBITDA	4,699	11,275	+6,575	+139.9%
JLab	売上収益	14,722	16,810	+2,087	+14.2%
	事業EBITDA	23	775	+752	+3250.3%
その他・全社費用	売上収益	909	1,066	+157	+17.3%
	事業EBITDA	△516	△624	△108	-
連結合計	売上収益	49,662	65,789	+16,127	+32.5%
	事業EBITDA	6,980	13,748	+6,768	+97.0%

Contents

1. FY23 3Q累計 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

全事業共通

- 為替について、3Q累計は米ドル、ユーロともに、3Q累計実績。4Qは米ドル145円、ユーロ155円の前提

ものづくり（部品・材料）/テイボー

- 3Q累計までの進捗に伴い、下方修正
- 筆記及びコスメは、一部回復の兆しが見えるが、欧米及び国内市場の回復は遅れる見込み
- MIMは、一部の顧客では回復が見られるが、見通しに変化なし

ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 3Q累計までの進捗に伴い、上方修正
- 活況な需要に応えるために3Qの供給を前倒した結果、4Qは前年同期を下回るが、受注残高は増加傾向
- 部品調達の安定化及び調達価格の適正化により生産面での制限は見込まず
- Serato Audio Research Limitedの株式取得はクロージング前のため反映せず

ものづくり（音響機器関連）/JLab

- 売上収益は為替影響を除き、予想は変更せず。事業EBITDAは上方修正
- 価格適正化やコスト低減策の効果により、更に収益性が改善

Seratoの取得関連費用や、持分法適用株式の評価損リスク等を4Qに反映するも、想定為替レートの見直し及び3Q累計までの進捗等を反映し、上方修正

単位：百万円	FY23 8/10付修正予想	FY23 11/13付修正予想	対8/10付修正予想	FY22	対前期	
売上収益	84,800	89,300	+4,500	73,515	+ 21.5%	
事業EBITDA	15,500	16,800	+1,300	11,367	+ 47.8%	
事業EBITDAマージン	18.3%	18.8%	+0.5%	15.5%	+3.3%	
営業利益	11,200	13,700	+2,500	1,262	+ 985.1%	
当期利益	6,700	8,600	+1,900	101,548	-91.5%	
為替レート (平均)	米ドル (円)	132.4	139.8	+7.4	131.4	+8.4
	ユーロ (円)	142.9	151.0	+8.1	138.0	+13.0
為替レート (期末)	米ドル (円)	130.0	145.0	+15.0	132.7	+12.3
	ユーロ (円)	140.0	155.0	+15.0	141.5	+13.5

*JMDC株式の一部株式譲渡に伴い、FY22において医療情報に関する事業を非継続事業に分類しております。
*4Qの為替レートは米ドル 145.0円、ユーロ 155.0円と想定しております。

- テイボーは、ペン先がまだ回復せず、下方修正
- AlphaThetaは、堅調な需要及び為替影響等を反映し、上方修正
- JLabは、収益性の改善及び為替影響等を反映し、上方修正

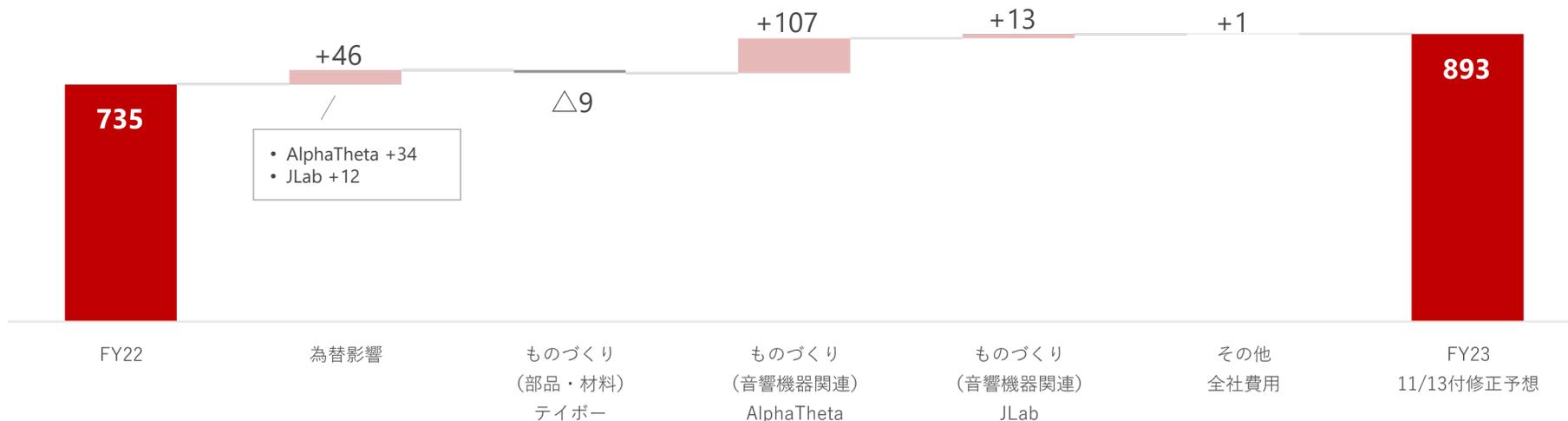
単位：百万円		FY23 8/10付修正予想	FY23 11/13付修正予想	対8/10付修正予想	FY22	対前期
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,000	11,800	△200	12,717	-7.2%
	事業EBITDA	3,300	3,100	△200	3,718	-16.6%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	71,400	76,100	+4,700	59,516	+27.9%
	事業EBITDA	13,100	15,000	+1,900	8,234	+82.2%
AlphaTheta	売上収益	46,800	50,500	+3,700	36,362	+38.9%
	事業EBITDA	11,300	12,800	+1,500	6,897	+85.6%
JLab	売上収益	24,600	25,600	+1,000	23,154	+10.6%
	事業EBITDA	1,800	2,200	+400	1,337	+64.5%
その他・全社費用	売上収益	1,400	1,400	-	1,282	+9.2%
	事業EBITDA	△900	△1,300	△400	△586	-
連結合計	売上収益	84,800	89,300	+4,500	73,515	+21.5%
	事業EBITDA	15,500	16,800	+1,300	11,367	+47.8%

対8/10付修正予想

単位：億円



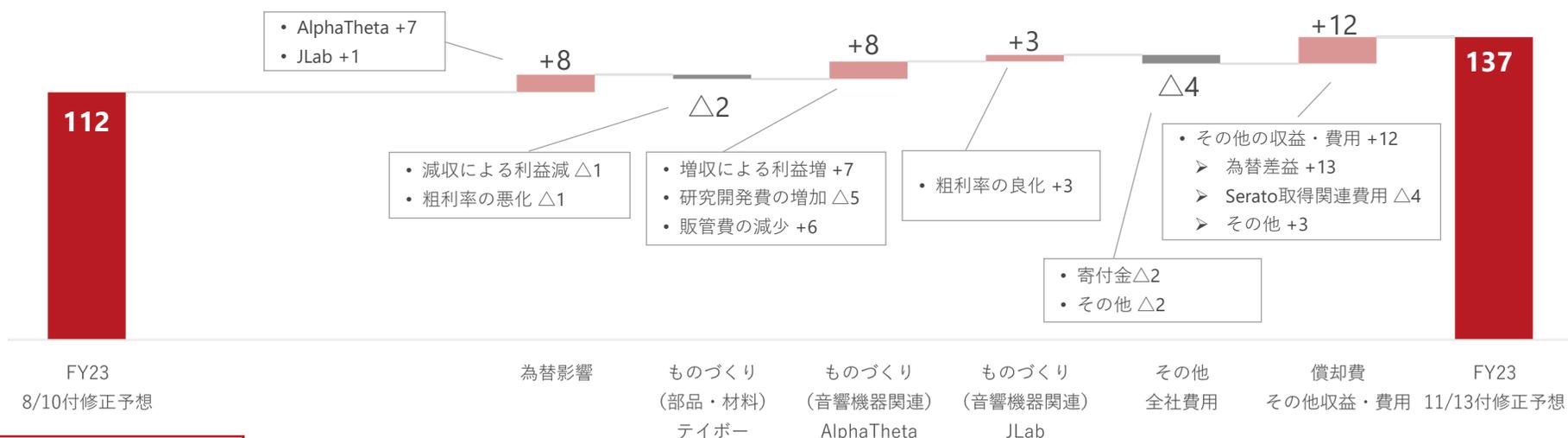
対前期



対8/10付修正予想

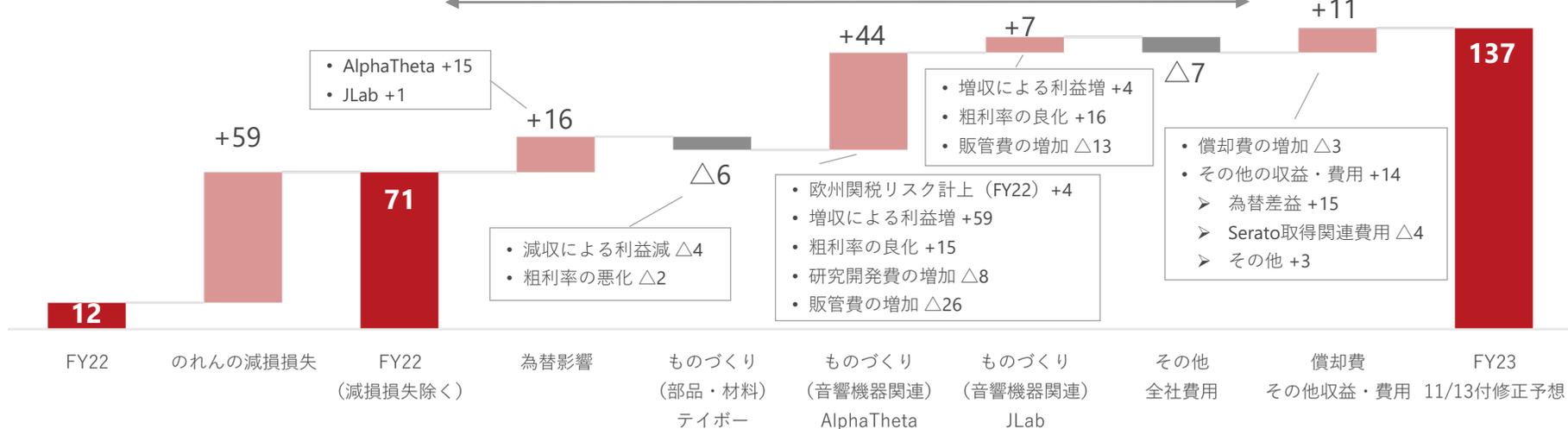
事業EBITDA +13

単位：億円



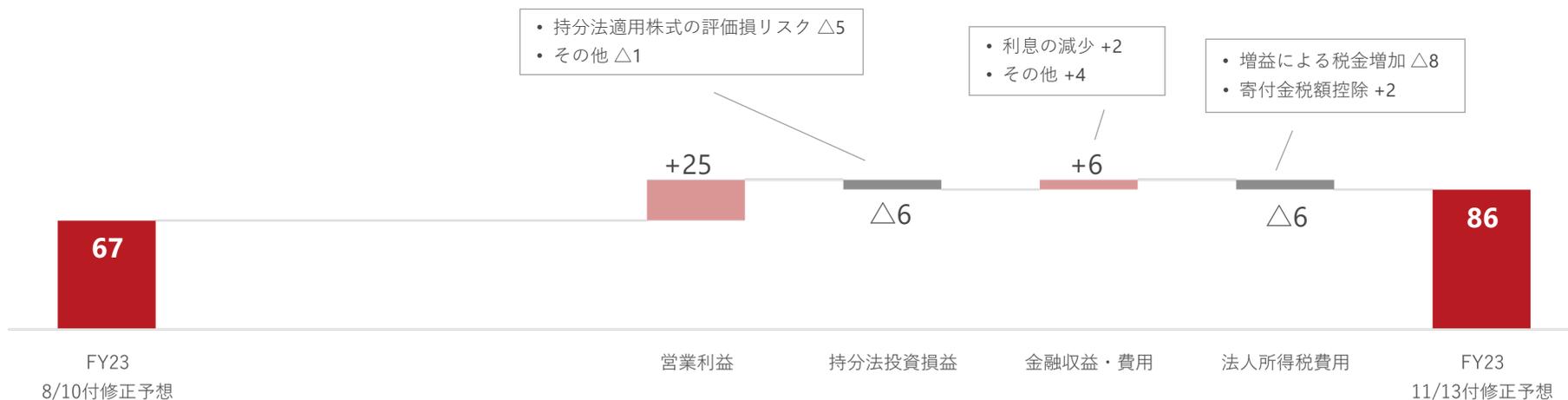
対前期

事業EBITDA +54

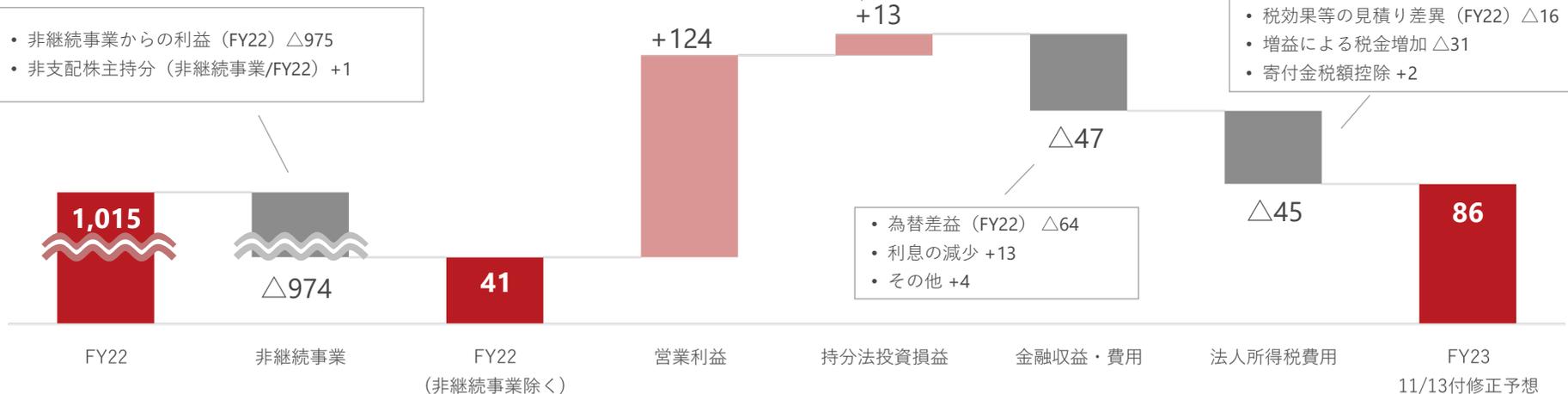


対8/10付修正予想

単位：億円



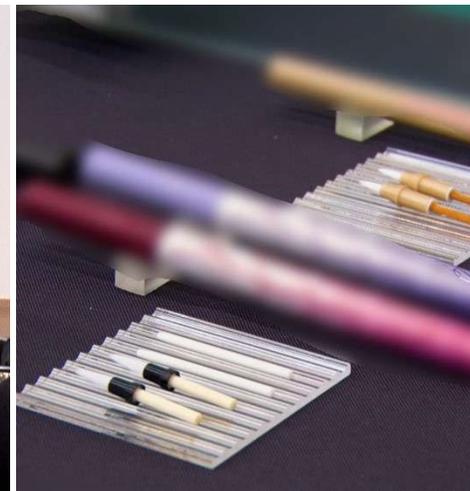
対前期



Contents

1. FY23 3Q累計 連結業績
2. FY23 通期連結業績予想
3. トピック

2023年10月30日に、事業再編後初の取り組みとして、グループ事業説明会を開催



- 2023年9月、トーンアームフリーのDVS*演奏とアナログレコード再生の両対応を世界で初めて実現した『PLX-CRSS12』を発売
- 2023年9月、Pioneer DJブランドから、Serato DJ Proとrekordboxに対応の2chスクラッチスタイルコントローラー『DDJ-REV5』を発売

■ PLX-CRSS12 (2023年9月)

DVSコントロール機能搭載 プロフェッショナルダイレクト
ドライブターンテーブル



針飛びを気にせずパフォーマンスに集中できるトーンアームフリーDVS演奏を実現

■ DDJ-REV5 (2023年9月)

スクラッチスタイル 2ch パフォーマンスDJコントローラー



*Digital Vinyl System。タイムコードが刻み込まれた専用レコードをターンテーブルで再生し、DJソフト内の音楽ファイルをコントロールする仕組み

- 2023年9月、ミニマル需要に対応した極小サイズイヤホン『JBUDS MINI』を世界同時発売
- 2023年10月、各ゲームデバイスに対応したゲーミングヘッドセット『NIGHTFALL』を発売

■ JBUDS MINI (2023年9月)
TRUE WIRELESS EARBUDS



■ NIGHTFALL (2023年10月)
WIRED GAMING HEADSET



Appendix

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

概要

テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

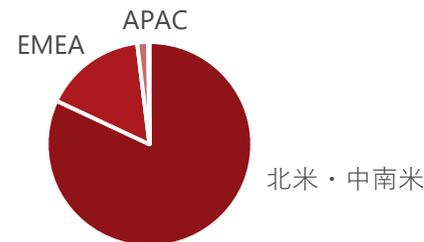
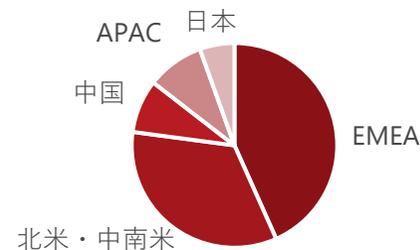
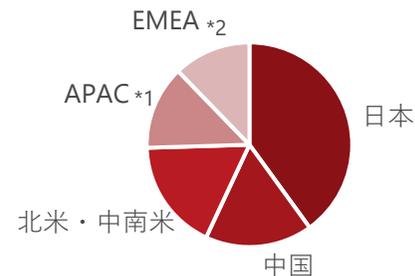
AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

FY22 地域別売上収益構成比



*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

為替レート（平均）の1円円安による影響額

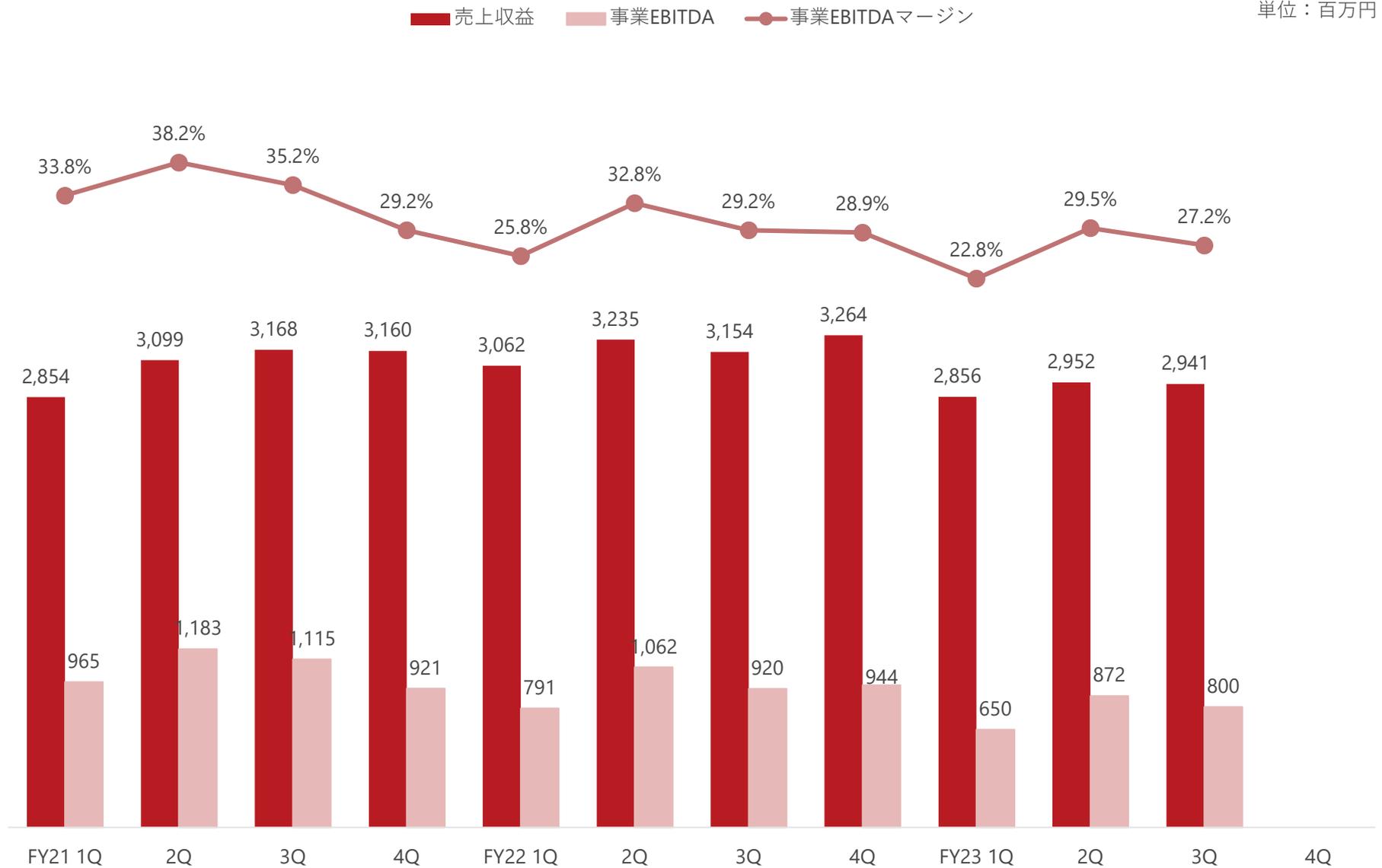
通貨	FY23予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA/営業利益
米ドル	139.8円	+3.2億円	+0.0億円
ユーロ	151.0円	+1.3億円	+1.1億円

2023年11月13日付修正予想の為替前提

通貨	3Q累計実績	4Q	通期
米ドル	138.1円	145.0円	139.8円
ユーロ	149.6円	155.0円	151.0円

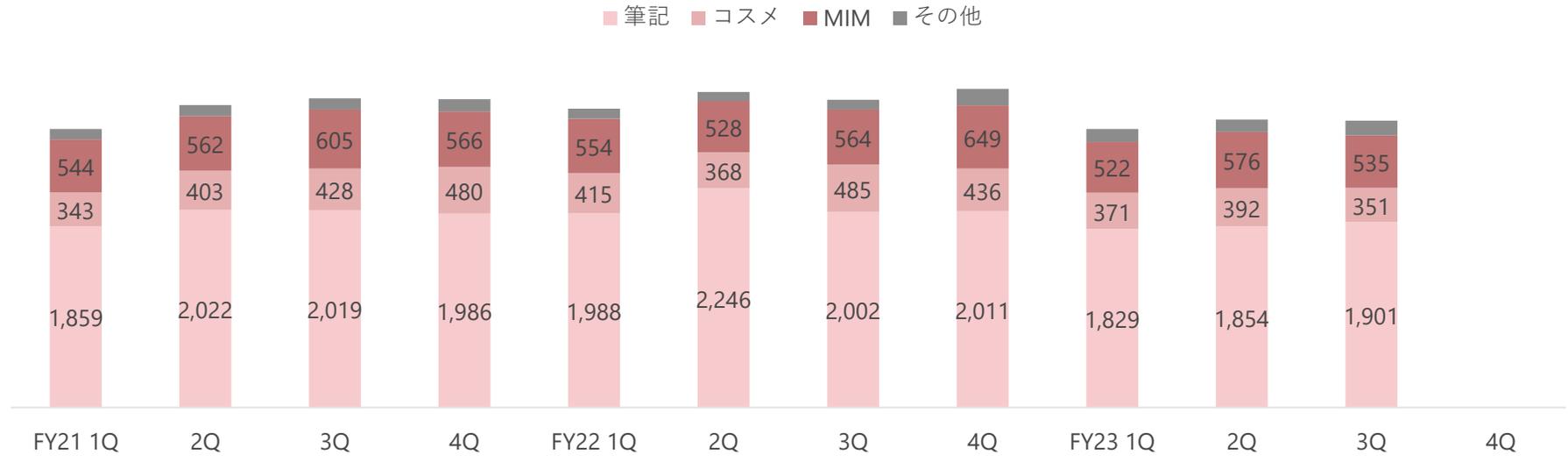
2023年8月10日付修正予想の為替前提

通貨	上半期	下半期	通期
米ドル	134.9円	130.0円	132.4円
ユーロ	145.8円	140.0円	142.9円



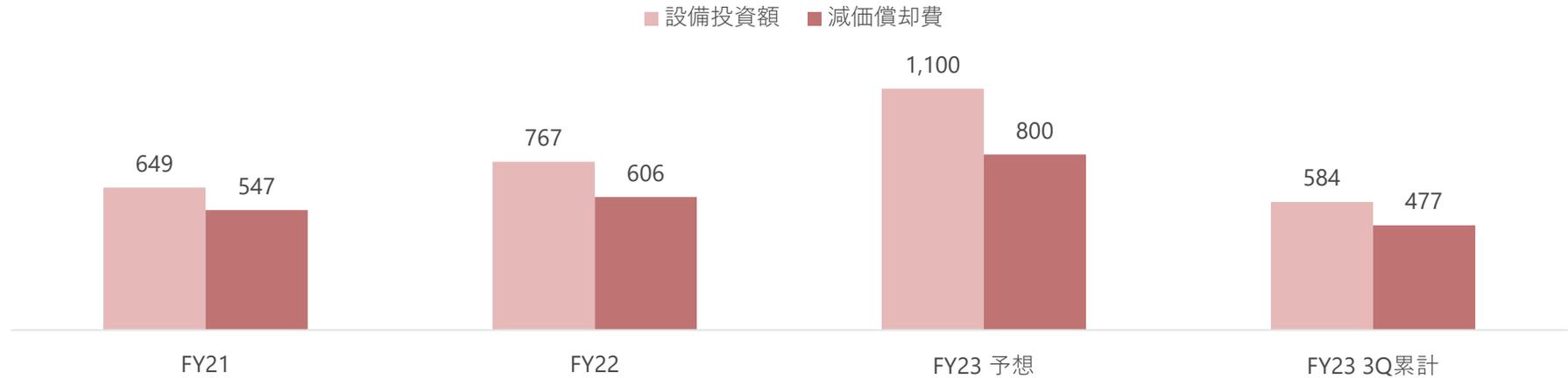
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円

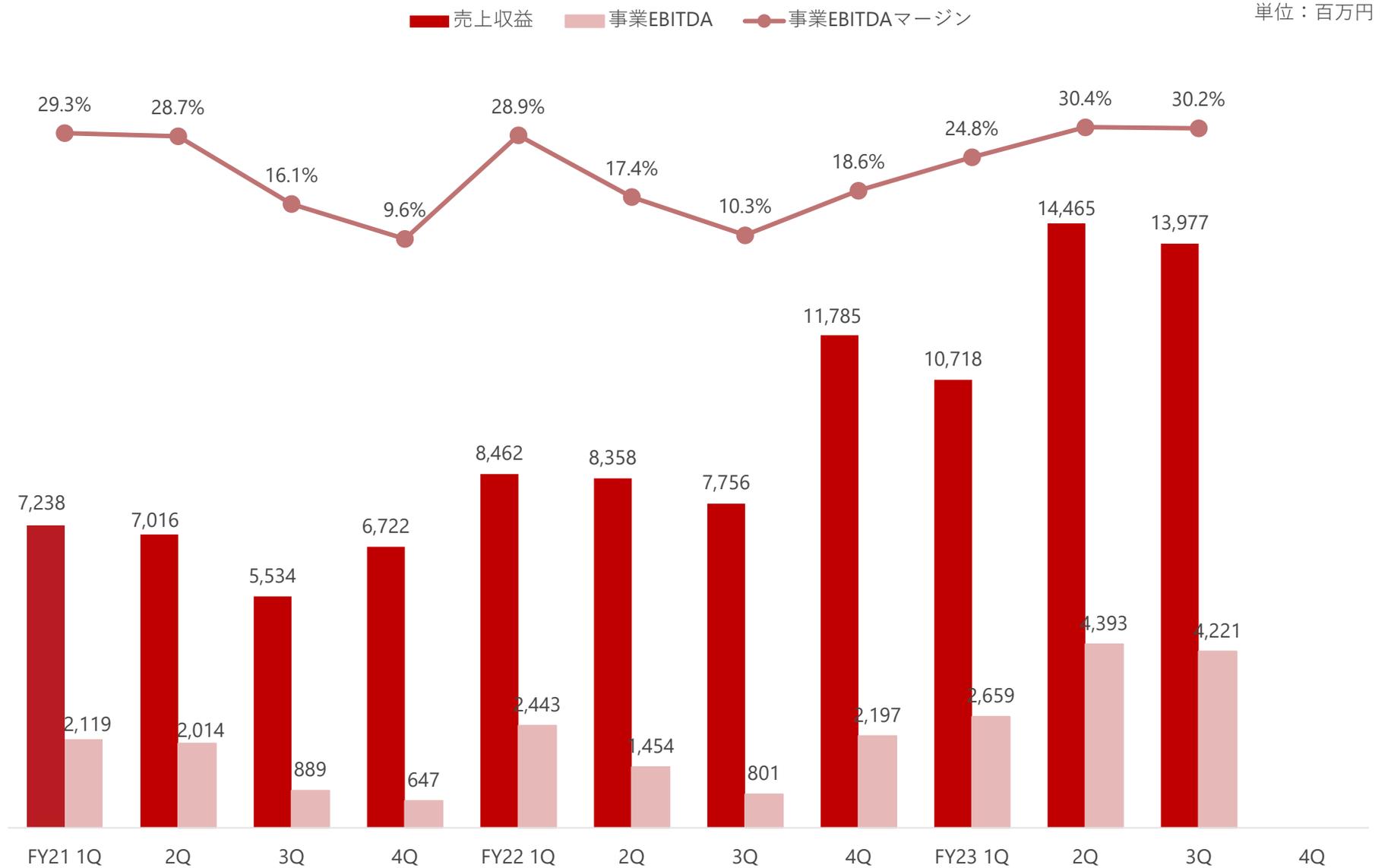


設備投資・減価償却費^{*1}

単位：百万円



*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

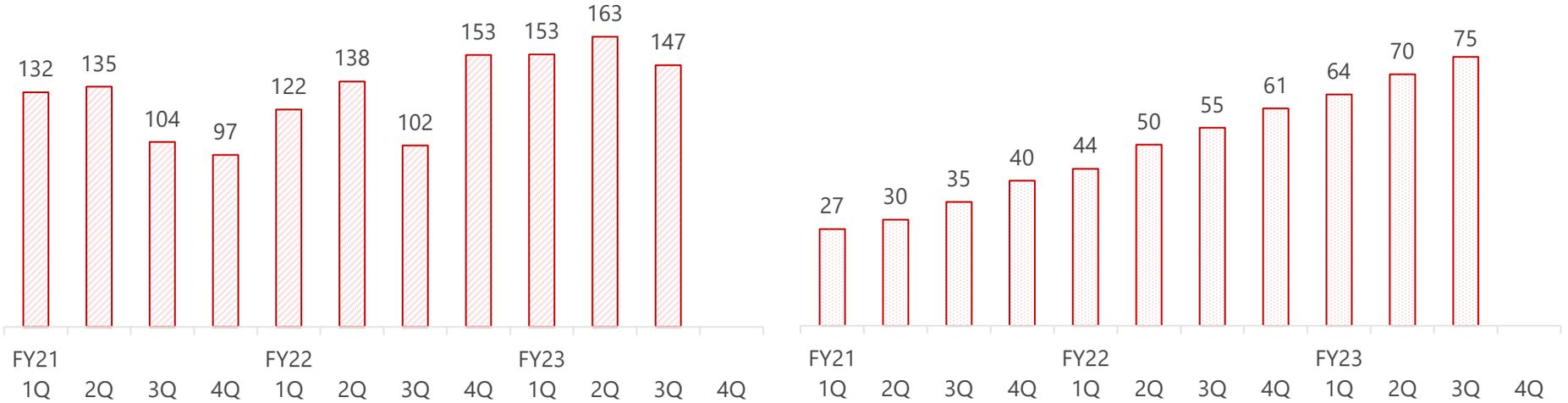


DJ機器出荷台数

単位：千台

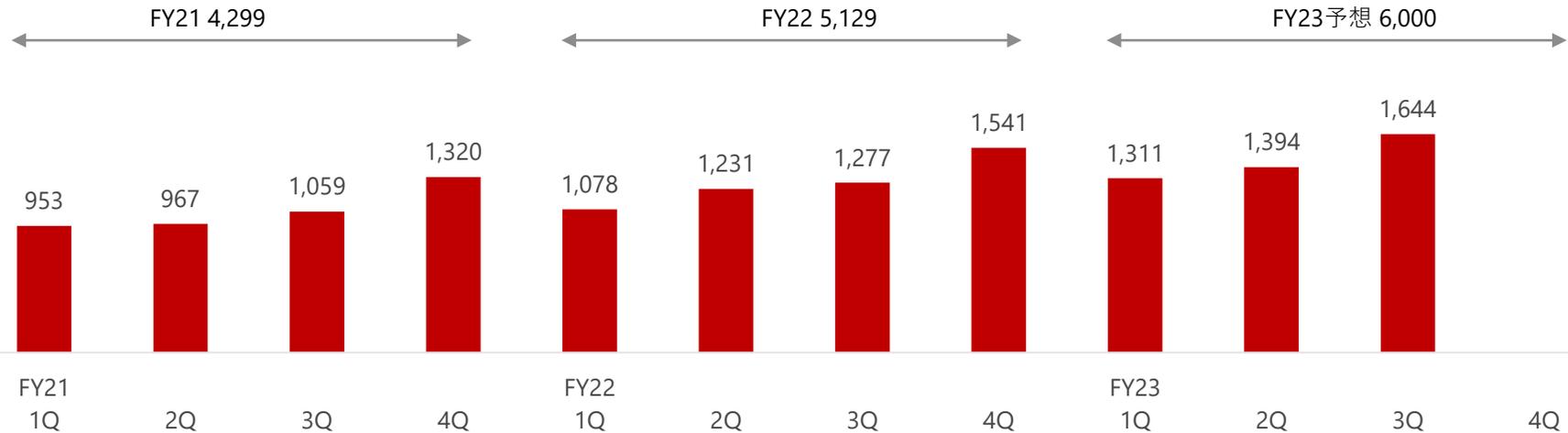
DJ向けアプリケーションMAU *1

単位：万人

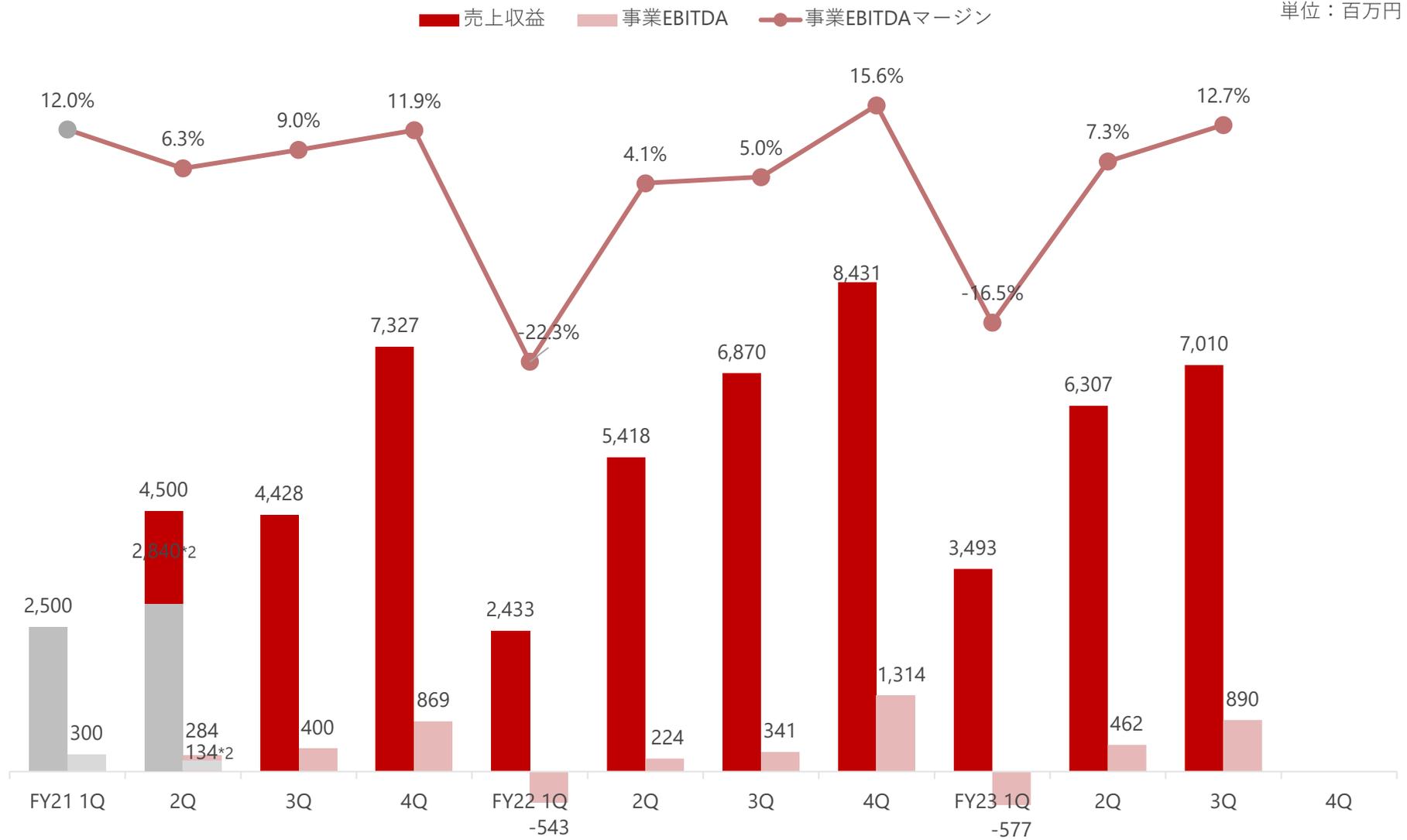


研究開発費

単位：百万円



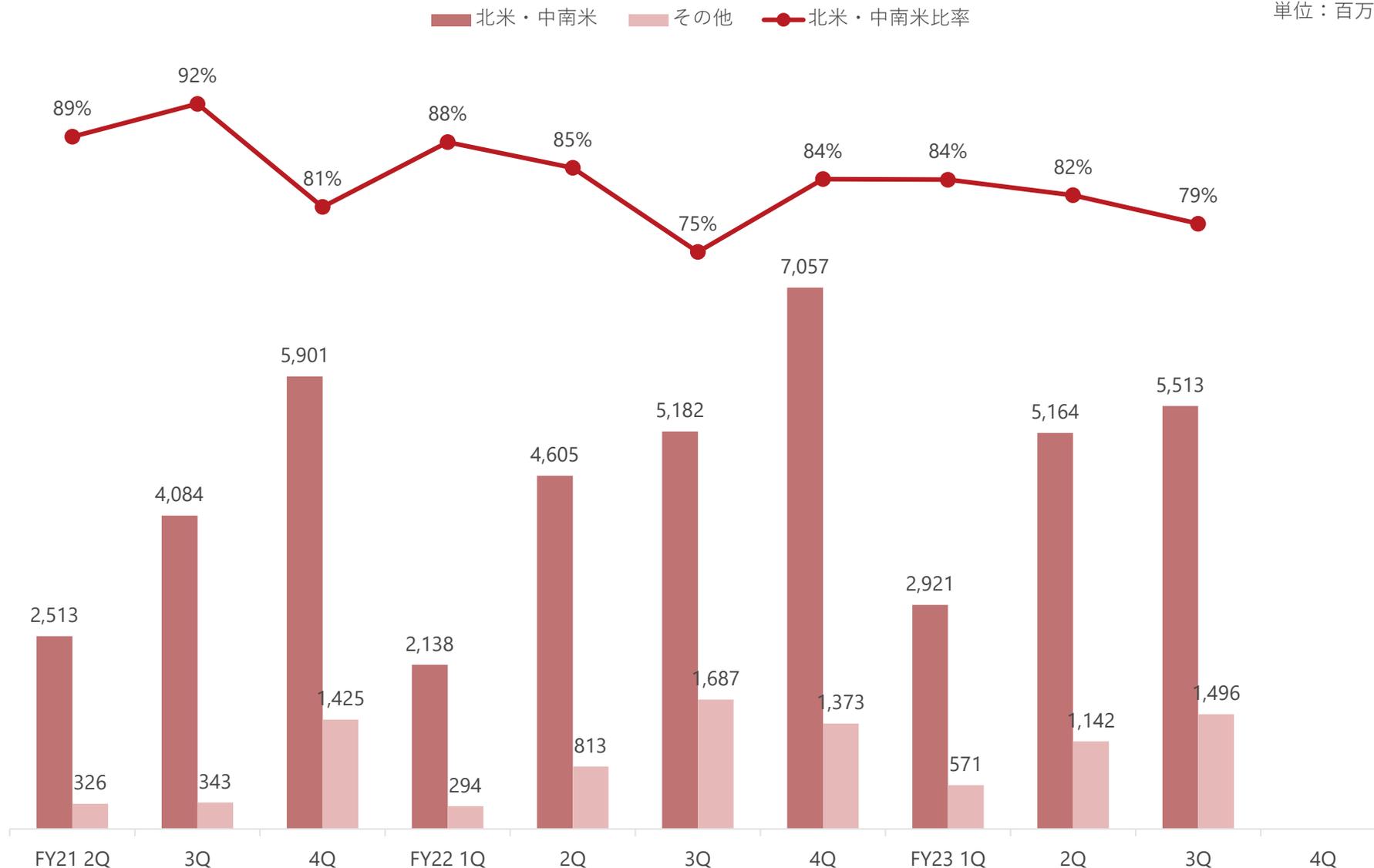
* FY23 1Qの決算補足説明資料より、rekordbox ver.6以上のMAUに変更。MAUはFY21 1Qに遡及して変更済



*1 グレーの期間は、グループ外のため参考値。米国会計基準。1米ドル106円で換算

*2 2021年5月にグループ入りした以降の金額

単位：百万円



*2021年5月にグループ入りした以降の金額

社名 ノーリツ鋼機株式会社（東証プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役	岩切 隆吉	取締役 (監査等委員)	太田 晶久
	横張 亮輔		伊庭野 基明
	大塚 あかり		高田 剛

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 50百万円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーケティングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円（2021年12月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■販売子会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Winthrop Cramer, CEO
資本金 19M USD（2023年3月31日現在）
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売